

「#知ろう所沢」 通信 第1号

#変えよう所沢

杉田まどか

「ゴミ有料化に反対しています」

発行元:埼玉県地域福祉政治連盟
代表杉田まどか (討議資料)
〒359-0021 東所沢 5-2-6-205
メール ivy.sugita@gmail.com

「所沢ダイオキシン問題」(Google 検索「所沢ダイオキシン問題」)

1995年にくぬぎ山周辺土壌と焼却灰からそれぞれ100-500 pg/g 及び 2000-4000 pg/g という高濃度のダイオキシンが検出され、1999年2月、テレビ朝日が独自調査を行い、所沢の野菜はダイオキシン濃度が高いとの報道を行ったことにより、所沢産野菜の不買運動などが起こり社会問題となりました。現在の所沢市の焼却炉は高性能なもので東部、西部クリーンセンターも「廃棄物処理施設の維持管理に関する情報」を公開しています。所沢市は大気におけるダイオキシン濃度は環境基準より著しく低いです。環境問題からゴミ処理において熱く語られてきた所沢市であったはずなのにいつのまにか「ゼロカーボンシティ」というキーワードにテーマがすり替えられて「ゴミ有料化」ありきになっています。市民はいまもゴミ分別を日々頑張っているのに「それでは足りない」「温室効果ガスをへらそう」と市の課題を国際問題にすり替えているのでは？と感じています。「ゴミ有料化反対！」公園お掃除隊をしています、ゴミ有料化は町の公園へのポイ捨てを誘発します。さらには、物価高が叫ばれている今市民にさらなる費用負担を強いることに反対です！



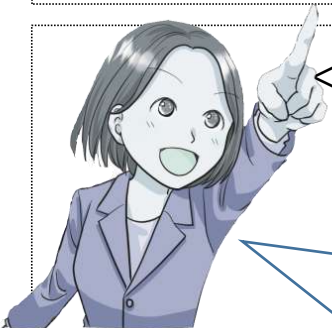
#知ろう所沢

<じつは！！所沢市ではすでにゴミ有料化にむけて議論しています>

R4.10/31 第3回所沢市廃棄物減量等推進審議会会議録より一部抜粋

会長「分別を徹底するという点については、市民の理解を得た上で、その枠組みを行政が用意しないと、きちんと取り組んでいただけないことがあると思います。ある政令指定都市では、透明性を高めた市の指定袋に変えたところ、20数%の減量効果があったとの。(中略)

まずは分別を徹底し、可燃ごみの袋に22.8%の資源物を入れるのをやめれば、より小さな袋に切り替えて負担を減らせます。さらに、有料化によってごみを減らすことが可能になります。」



<市町村単位のゼロカーボンシティは本当に現実的なのか？>

「どこまでエコを市民に求めていくのか再検討の時期では？」

「天然ガス自動車の運用も今やできていません」

「今、さらなる負担(ゴミ有料化)を市民に求めないでください」

R4.12/26 第4回所沢市廃棄物減量等推進審議会会議録より一部抜粋

会長「見える化」という意味では、資料2の第3回審議会の意見で「市の規格の指定袋(有料)を導入する等、市民が分別しやすいような仕掛けを市が用意することが必要と思われる」とあります。有料化により市民の負担が増える側面もある一方で減量効果もあります。指定袋のサイズでごみ排出量を容易に知ることができたり、袋の透明性を高めることで、自分自身や収集業者が分別状況をチェックしやすいというメリットもありますので、非常に有益ではないかと思う」

会長「CNG車(天然ガス自動車)は導入されていますか？」

→事務局回答「一時、利用していましたが、燃料の補給場所が限られ、現在は使用していません。」

<高性能焼却炉を高額な金額で作りダイオキシンを出さない方針が

温室効果ガスが出るから悪いに方針転換>

市民の知らないところで話を変えないでください！

所沢市は本当にこのまま今、ゴミ有料化ありきを推進していくべきなのか？

市民は既にプラスチック容器洗浄やゴミの分別を日常的に頑張っています。



R5.3/9第5回所沢市廃棄物減量等推進審議会会議録より一部抜粋

委員「また、26 ページの温室効果ガス排出量で、ごみ量が減っているにも関わらず、温室効果ガスは増えているというお話がありました。プラスチックごみが 増えると、電気を使用するよりプラスチックを燃やした時の **CO2 の量が多くなります**」

事務局「全体のごみ量が減ってきている中で、温室効果ガスが増えている理由は、燃やせるごみが減少している一方で、プラスチックごみが増加しているためであると考えております。基本的に、容器包装プラスチックはリサイクルをしていますが、汚れていてリサイクルができないプラスチックは燃やしています」

#知ろう所沢

仮称 やなせみどりの丘

<現在所沢市は、市外の民間施設に最終処分を委託していますが、
自区内処理の為市内「南永井」に現在一般廃棄物処理場を建設中>

面積、約 6.0ha、概算工事費、**66 億円**。(地番は南永井字井頭1071-1ほか 2021/11/29 埼玉建設新聞参照)

工事は市外の戸田建設関東支店(さいたま市)に決定しています。

●資料1 令和 2 年「(所沢市)廃棄物処理施設の維持管理に関する情報」抜粋

西部クリーンセンター B 系焼却炉

煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度並びに飛灰中のダイオキシン類の濃度

排ガスを採取した位置	煙突		規制値	飛灰を採取した位置	灰貯留槽		規制値
	排ガスを採取した年月日	令和2年6月19日			令和2年12月4日	飛灰を採取した年月日	
測定の結果が得られた年月日	令和2年8月17日	令和3年1月21日		測定の結果が得られた年月日	令和2年7月17日	令和3年1月21日	
測定の結果 (ng-TEQ/m ³ _N)	0.0000014	0.0000035	5以下	測定の結果 (ng-TEQ/g)	0.13	0.055	3以下

西部クリーンセンター A 系焼却炉

煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度並びに飛灰中のダイオキシン類の濃度

排ガスを採取した位置	煙突		規制値	飛灰を採取した位置	灰貯留槽		規制値
	排ガスを採取した年月日	令和2年6月2日			令和2年12月4日	飛灰を採取した年月日	
測定の結果が得られた年月日	令和2年7月17日	令和3年1月21日		測定の結果が得られた年月日	令和2年7月17日	令和3年1月21日	
測定の結果 (ng-TEQ/m ³ _N)	0.00000028	0.0000060	5以下	測定の結果 (ng-TEQ/g)	0.13	0.055	3以下

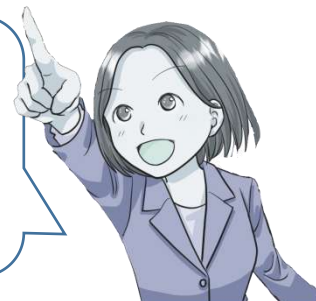
ダイオキシン環境基準(環境省ダイオキシン類対策特別措置法に基づく基準等より抜粋)

環境基準等

- (1) 大気 年平均値 0.6pg-TEQ/m³ 以下
- (2) 水質 年平均値 1pg-TEQ/l 以下
- (3) 底質 150pg-TEQ/g 以下
- (4) 土壌 1000pg-TEQ/g 以下

#知ろう所沢

『プラスチックを燃やしても
ダイオキシンほぼゼロ』



感謝 地域活動家・シングルマザー 杉田まどか

県議選では多くの市民の皆様へ支えられ15405票の届きました。感謝しています。所沢の地域の皆様へ支えられ、3人の子供たちも、今日まで育つ事ができました。私を信じて支えて、共に歩んできた中間に感謝しています。「市民の声と大事にする政治」「町を大事にする政治」「既得権などにしがらみのない政治」を所沢市で実現したく、願いをこめて、「#知ろう所沢」通信で小情報発信も続けています。



★著書・記事・講演★

現役ケアマネが教える最新介護保険利用のしかた(成美堂出版 2008.9)
現役講師が教えるケアマネ合格テキスト13年版(成美堂出版)
現役講師が教えるケアマネ合格テキスト14年版(成美堂出版)
月刊ケアマネジャー記事連載
中央法規出版(2016.9~2017.8)(2020.4~2021.3)
住民行政の窓記事「行政による先駆的实践(最終回)自治体主導による多機関多職種連携のためのミクロ・メゾ・マクロの記録標準化」(日本加除出版 2021.4)
立憲民主党埼玉県連 研修会講師(2021.8)
月刊ケアマネージメント「記録の標準を目指して」記事(2022.7)
介護・福祉の応援サイト けあさぽ「もっと知りたいケアマネジャーのこと」Web 記事掲載中

★経歴★

- 最終学歴 2000年4月 帝京平成短期大学福祉学科介護福祉専攻卒業
- 所沢市の仲間と私のあゆみ
 - ・2008年5月 所沢市の仲間と呼ばれ住民になる。久米に仲間と手話対応独立型アイビー居宅介護支援事業所(ケアマネ)開業。
 - ・2008年12月 埼玉県養育里親・養子縁組里親登録(2018年11月迄)
 - ・2012年10月 所沢市介護認定審査会委員就任(2015年3月迄)
 - ・子ども大会リーダー、南小学校保護者と6校合同行事で南小タウン開催
 - ・2015年4月秋草学園福祉専門学校(介護福祉士養成)非常勤講師(2016年3月迄)
 - ・2015年9月子育てしにくい地域、保育園に入りにくいことを憂いて「子育ての両立支援の充実を求める請願」を仲間241人と提出。全会一致可決
 - ・2016年6月 行政マン。足立区役所、福祉事務所に勤務(2021年12月迄)
 - ・2021年3月 通学路の危険性を保護者達と行政へ訴えても市が動かない為仲間と「通称七曲り通りの通学路を使って松井小学校へ通学している児童の安全対策を願う請願」を提出。全会一致可決
 - ・毎日新聞 2021年7月2日 地方版に請願活動記事が掲載。
 - ・2021年7月6日 TBS Nスタ「危険な通学路」請願活動が報道。
 - ・2021年10月9日テレビ朝日サタデーステーション「危険な通学路」請願活動が報道。
 - ・2022年4月 所沢市立松井小学校令和4年度PTA 育成校外部長就任。
 - ・2022年5月19日(2021年3月の)「松井小学校区内の通学路の安全対策を願う請願」を所沢市教育委員会に提出。
 - ・2022年6月16日 フジテレビ イット「危険な通学路」請願活動が報道。
 - ・2023年完全無所属で埼玉県議会議員選挙出馬。1416票で次点。

●政治信条

1993年16歳の夏、日本基督教団東京教区で沖縄教区中高生合同キャンプに参加。初めて沖縄へ行く機会でした。今は観光地で有名なちゅら(美しい)海が黒い軍艦で埋め尽くされ地上戦により多くの方が亡くなった戦争体験を経験者から聞きました。戦火では集団でガマ(洞窟)に逃げた話や生き延びるためにわが手で赤子を殺したことを泣きながら話す語り部に衝撃を受けました。その後数年間毎月のように沖縄に通い「一坪反戦地主運動」「P3C(哨戒機部隊)反対運動」など沖縄の地域で繰り広げられる反戦運動に傾倒する10代を送ってきました。メディアでは報じられない地域の市民活動に大きく影響を受け、自分と両手の仲間たちとともに暮らしを守る活動が必ず地域を良くするのだと思うようになります。その後も子育てを通し、また福祉の仕事に携わる中で多くの課題にぶつかり続けましたが仲間と市民の皆様とともに「諦めない」活動をつづけ、その事こそが地域をづくり政治の原点にあるべきというのが今の私の政治信条となっています。